

第 1 2 5 回(令和3年7月)情報処理技能検定試験(データベース) 4 級問題

<問 題>

- 各テキストデータ（日本語シフト J I S、C S V 形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータは DB4 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は 2 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

講座マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	講座 C O	長整数型	11
	講座名	テキスト型	工作
	会場	テキスト型	講習室

※講座マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

申込テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	申込 C O	長整数型	101
	代表者名	テキスト型	川島 花歩
	講座 C O	長整数型	11
	人数	長整数型	2

<処理条件>

人数が 5 人以上の申込人数一覧表を作成する。

- それぞれの講座 C O を関連付けしなさい。

<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。

人数が 5 以上を抽出しなさい。

[処理結果件数：4 件]

- 表を作成しなさい。

表題は“申込人数一覧表（5 人以上）”とする。

データの並び順は人数の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

申込人数一覧表（5 人以上）				
申込 C O	講座名	会場	代表者名	人数
105	ヨガ	スポーツルーム	海老原 心音	5
		}		
134	タッチケア	和室	宇佐美 茂	8

第 1 2 5 回(令和3年7月)情報処理技能検定試験(データベース) 3 級問題

<問 題>

- 各テキストデータ（日本語シフト J I S、C S V 形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータは DB3 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は 3 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品 C O	長整数型	101
	商品名	テキスト型	焼きのり
	単価	長整数型	100

※商品マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

得意先マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	得意先 C O	長整数型	11
	得意先名	テキスト型	さくまフード
	エリア C O	長整数型	1

※得意先マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	売上 C O	長整数型	1001
	売上日	日付/時刻型	2021/6/1
	得意先 C O	長整数型	19
	商品 C O	長整数型	200
	数量	長整数型	8

<処理条件>

売上額が 2 万円以上の売上額一覧表を作成する。

- それぞれの得意先 C O・商品 C O を関連付けしなさい。

売上 C O ごとに売上額を求めなさい。

売上額 = 単価 × 数量

売上額が 20,000 以上を抽出しなさい。

[処理結果件数：7 件]

- 売上額の平均を求めた表を作成しなさい。

表題は“売上額一覧表（2 万円以上）”とする。

データの並び順は売上額の昇順とする。

平均は整数未満四捨五入の表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

売上額一覧表（2 万円以上）				
売上 C O	得意先名	商品名	数量	売上額
1198	木田うどん	小玉スイカ	20	20,000
		}		
1082	アロイ	牛肉ヒレ	21	42,420
平 均				XX,XXX

第 1 2 5 回(令和3年7月)情報処理技能検定試験(データベース) 2 級問題

<問 題>

- 各テキストデータ（日本語シフト J I S、C S V 形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータは DB2 フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は 3 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品 C O	長整数型	101
	商品名	テキスト型	ラザニア
	単価	長整数型	150
	区分 C O	長整数型	1

※商品マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

販売テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客 C O	長整数型	11
○	販売日	日付/時刻型	2021/6/9
○	商品 C O	長整数型	177
	数量	長整数型	4

累積販売テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客 C O	長整数型	11
○	販売日	日付/時刻型	2021/4/3
○	商品 C O	長整数型	156
	数量	長整数型	1

<処理条件>

- 6 月の販売結果を追加し、区分 C O が 1 の商品別販売額合計一覧表を作成する。
- <販売テーブル>のすべてのレコードを<累積販売テーブル>に追加しなさい。
[追加件数：4 8 7 件]
- <累積販売テーブル>・<商品マスタ>の商品 C O を関連付けしなさい。
顧客 C O ・販売日・商品 C O ごとに販売額を求めなさい。
販売額 = 単価 × 数量
区分 C O が 1 を抽出しなさい。
[処理結果件数：8 2 2 件]
- 商品 C O ・商品名ごとに数量・販売額を集計（合計）しなさい。
数量の集計は“数量合計”、販売額の集計は“販売額合計”とする。
販売額合計が 6, 000 未満を抽出しなさい。
[処理結果件数：5 件]
- 販売額合計の最小を求めた表を作成しなさい。
表題は“商品別販売額合計一覧表（6, 0 0 0 円未満）”とする。
データの並び順は数量合計の昇順とし、販売額合計はすべて通貨表示とする。
表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

商品別販売額合計一覧表（6, 0 0 0 円未満）			
商品 C O	商品名	数量合計	販売額合計
126	梅サイダー	12	¥1, 680
	}		
168	モモジュース	54	¥5, 940
	最 小		¥X, XXX

第 1 2 5 回(令和3年7月)情報処理技能検定試験(データベース) 1 級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフト J I S、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータは DB1 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は 3 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品 C O	長整数型	101
	商品名	テキスト型	レターセット
	単価	長整数型	450
	仕入先 C O	長整数型	1

※商品マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

仕入先マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	仕入先 C O	長整数型	1
	仕入先名	テキスト型	イースト
	担当者名	テキスト型	守屋 礼子

※仕入先マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

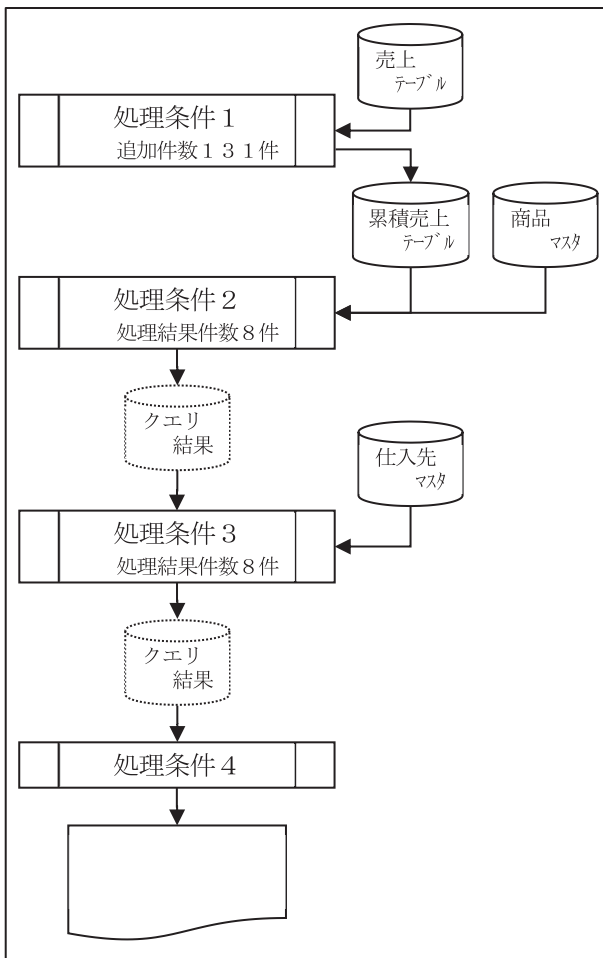
売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客 C O	長整数型	12
○	売上日	日付/時刻型	2021/6/10
○	商品 C O	長整数型	149
	数量	長整数型	15

累積売上テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	顧客 C O	長整数型	11
○	売上日	日付/時刻型	2021/2/26
○	商品 C O	長整数型	172
	数量	長整数型	14

<処理フロー>



<処理条件>

6 月の売上を追加し、仕入先別売上ゼロ商品一覧表を作成する。

- すべてのレコードを累積売上テーブルに追加する。
- <商品マスタ>を基準に商品 C O を比較し、一致しないデータを抽出する。
- 出力する項目を選択する。
- 仕入先 C O ・仕入先名ごとにグループ化し、仕入先 C O ごとに商品 C O をカウントした表を作成する。商品 C O のカウントは“商品数”とする。

表題は“仕入先別売上ゼロ商品一覧表”とする。

データの並び順は仕入先 C O の昇順で商品 C O の昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

仕入先別売上ゼロ商品一覧表

仕入先 C O	仕入先名	商品 C O	商品名	単価
1	イースト	商品数	X 点	
		133	つづりひも	200
			}	
		173	製本リング	3, 120
			}	
8	吉田商店	商品数	X 点	
		106	出金伝票	570
			}	
		125	A 6 ノート	1, 530